

Blossom -lite- no.8

1, 教祖のひながたを学ぼう

2, step by step

3, ちょこっとぎやらりい。



asahijoshiseinen

A photograph of a narrow dirt path winding through a lush, green forest. Sunlight filters through the dense canopy of trees, creating dappled light on the path and the surrounding foliage. The trees have thick trunks and vibrant green leaves. The overall atmosphere is peaceful and natural. Overlaid on the center of the image is the Japanese text '教祖のひながたを学ぼう' in a white, serif font.

教祖のひながたを学ぼう

『おやさまの情景』 紹介

人救けたら p.67

私は祖父母や両親の信仰によりお道を通らせていただき、おかげさまで健康に過ごさせていただいています。おちばの中学高校で学び、今は教育について学んでいます。目先の事だけではなく、視野を広く持って、コロナ禍で目には見えない色々な所で苦しんでいる人や助けを求めている人に気づき、手を差し伸べることが出来るような人になりたいです。

しんぢつにたすけ一ぢよの心なら
なにゆいいでもしかとうけとる

わかるよふむねのうちよりしやんせよ

人たすけたらわがみたすかる おふできき 3 号47

『おふでさき』にもあるように、自分の事はさておき、人に幸せになってほしいという気持ちでお手伝いをさせていただくことで、その心を親神様が受

け取ってくださるのだと思います。

逸話篇の「人救けたら」も、自分のことよりも人に救かってもらいたいとい

う一心がおのずと自分も御守護をいただいたお話です。これまで家族、親友など自分が計り知れないほど多くの方々に支えていただいたので、これから

自分が救ける立場になり、ようぼくとして「人をたすける心」「感謝の気持ち」を大切に、日々を過ごすように努めた。

ち」を忘れず、陽気ぐらしを目指して毎日勇んで通らせていただきたいと思います。

中 舘 千 絢

Step by step

asahijoshiseinen

おつとめ

「おつとめ」とは

親神様が全ての人間をたすけたいという親心から、私たちが心を揃えて祈りを捧げ、よろづたすけの御守護を頂戴する方法として教えてくださったのが「おつとめ」です。おつとめは「かぐらづとめ」と「よろづよ八首」「十二下り」のてをどりから成っています。教祖御自ら、おつとめの地歌、手振り、鳴物までお教え下さいました。このおつとめの地歌を「みかぐらうた」といいます。

それぞれの「おつとめ」の意味

「かぐらづとめ」

かぐらづとめは、親神様が人間を創られた時のお働きを今に再現されています。男5人、女5人のつとめ人衆が、ぢば・かんろだいを囲み、かぐら面をつけて、それぞれの役割を手振りにあらわしてつとめられます。親神様の思召である陽気ぐらしの世界へと人間世界を建て替える、よろづたすけのつとめです。教会本部での大祭や教祖誕生祭、元旦祭、月次祭、また「をびやづとめ」「はえでづとめ」でつとめられます。

「座りづとめ」

かぐらづとめの理を受けて、国々所々の教会の月次祭において、お鎮まり下さる親神様のお目標を通してぢばを拝し、座りづとめがつとめられます。

「朝夕のおつとめ」

「朝づとめ」は親神様のご守護に感謝し今日一日のお連れ通りをお願い申し上げ、「夕づとめ」は一日のお礼と明日への祈りを込めて、つとめさせて頂きます。

「お願いづとめ」

身上事情のご守護をお願いしてつとめます。

ちょこっとぎゃらりい。



カメラマン：sekisanphoto

みなさん、こんにちは🌸 Blossom-lite-
のお時間です^^

2021年も残りわずか、年越しの準備が
御本部でもされていました。

今回の写真は、12月26日の御本部月
次祭後に、門松の設置が行われていると
ころです。トラックで門松を運び最終位
置を決めてから、紐を締めて完成です。
営繕課の方々が一生懸命に設置されてい
ました。この日もめっちゃめっちゃに寒
い日で風がビュービューと音を鳴らしな
がら吹いていました🍃

みなさんは、この2021年どんな1年
だったでしょうか？
来年もBlossom-lite-は続いています！
どうぞよろしくお願いします！

